

FUKUCHI

Public
Relations

No.72
December

広報ふくち



笑顔で しわを 増やそう

特集

12月7日に109歳の誕生日を迎える結城アサノさん(金田)は、町内一のご長寿。お顔に刻まれたしわは、山あり谷ありの人生を乗り越えてきた笑顔の勲章です。(長寿園の職員に花を手渡されご機嫌の結城さん)

2011
12

特集

笑顔で しわを 増やそう



住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと暮らしたい……。それは、誰もが抱く共通の願いです。将来、すべての人がこの願いを叶えられる地域を築けたなら、とても幸せなことだと思います。人はみな必ず年老いていくもの。将来の不安が、その願いに影を落としてしまうこともあるでしょう。そんな時、ふと頭をよぎる「認知症」ということば……。人ごとではないと知りつつ、避けてしまいがちなテーマです。しかし、認知症であっても、その願いは同じはず。将来のために、ここで一緒に共通の課題について考えてみませんか。



【認知症】「脳や体の病気が原因で脳の働きが悪くなり、記憶や判断力などの障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態」のこと。



「舞台に立つのは楽しい。喜んでもらえて、自分もうれしい」。昨日の施設慰問の話を、笑顔で振り返る大井秋子さん（73歳・金田）。「踊りは忘れんよね。新曲も覚えるからすごい」と娘の智恵美さん。「そりゃ月謝払いよんやけ、覚えなバカらしいが」すかさず返す母の言葉に笑い声が響きました。自宅では、デイサービスや趣味の舞踊教室の話など、ユーモアを交えたおしゃべりがはなむご家族です。

さりげない心で輝く毎日

昨年亡くなった父が7年前に、3年前からは母が認知症と診断され、子どもの卒業を機に福岡市から福岡市に帰ってきた娘の智恵美さん。父や母が「認知症かもしれない」と気付いたのは、いづれも物忘れの症状からでした。以来「忘れていることを指摘したところで、どちらもいい気持ちにはならないから」と、気付かないところで母をサポートするよう心がけています。

認知症の特徴として、環境や生活リズムが変わると症状が悪化することがあるため、身の回りの物や季節の変化を特に気にかけての智恵美さん。一方で「母の役割を奪わないで、長くやっていることを続けていけるほうがいい」と、今までの生活習慣を壊さないように、さりげなく配慮しています。

母・秋子さんは、洗濯や料理などいつもの家事を生き生きとこなし、元気に自転車をこいで商店街へ……。時には息子とゴルフに行くなど、それぞれの生活の場面を楽しみように毎日を送っています。

「時には小さな言い争いから、つい口調が強くなることもあります。だから家では『笑顔』を大切に、いつも漫才みたいな会話で盛り上げていますよ。そんな母に近所の人が声をかけ、地域や町の行事に誘ってくれる。とてもありがたいです」と智恵美さん。家の中の笑顔と外での活動が、秋子さんの表情をいっそう輝かせます。

いつまでも自分らしく

「かつて父に徘徊の症状がありましたが『何かあったら連絡を』と知らせていたため、近所の協力のおかげで大事に至りませんでした。父の時も助けられましたし、母の認知症を隠すつもりはありません」と、地域の協力の大切さを実感する智恵美さん。母への連絡事項も智恵美さんに伝えるなど、周囲の心づかいは、いつしか生活の大きな支えとなってきました。

「人のおしゃべりも趣味もテレビも、今は何でも楽しい」と笑みを浮かべる秋子さん。少しの配慮やサポートがあれば、好きなことを住み慣れた環境で楽しむことができる……。いつまでも自分らしく生きる素晴らしさが、その笑顔に表れていました。

家での会話は、いつも漫才みたい。辛い日もあるけど笑顔が基本です。



◆「好きなことを好きなように、長く続けられたらいいね。お母さん、来年もまた旅行に行こうか」と娘の智恵美さん④。「行ってやってもいいよ」と冗談を返す秋子さん。◆近所の子どもたちとのふれあひも、秋子さんの楽しみの一つです。



参加者の声①



稲富 久仁子さん
(80歳・丹城)

ふれあい交流に参加した時にこの教室を紹介され、介護予防をしてできる限り息子に迷惑をかけまいと思い参加しました。参加者の中では最高齢でしたが、計算やクイズなどの頭を使う問題も楽しくでき、参加して良かったと思います。

言葉が出にくいと感じたことがあったため、妻と一緒に参加してみました。家の中でできる運動法や脳を活性化させる「インターバル速歩(ゆっくり歩きと速歩きを交互に行う歩き方)」、発声訓練の方法などを知り、今も毎日実践しています。

参加者の声②



平中 務さん
(72歳・伊方)

みんなで笑って楽しく脳教室
(7月27日/丹城会場)



認知症を正しく知る

身近な病気、認知症は65歳以上の10人に1人、85歳以上の4人に1人になるといわれます。ここで正しく知って、予防しましょう!

認知症は予防できるもの。
簡単な予防法を毎日続けることが大切です。

特集 笑顔でしわを増やそう
第1幕 ● 認知症を知り地域で支える

食 事や運動のほか、一日前の日記を書いたり、人と楽しく会話して脳に刺激を与えるなど、毎日のちょっとした心がけが認知症予防につながります。町では、認知症の予防法を知って日常生活に役立ててもらうために「みんなで笑って楽しく脳教室」を本年度から開催。6月7月に丹城保健センターで行われた1回目の教室で講師を務めた濱谷由利さんは「意識しながら継続する」ということが、認知症予防では特に大切」と強調します。「逆に最もよくないことは、家に閉じこもって何もしないこと。思考力や筋力だけでなく、認知力をも低下させます。頭の先から足の先まで、使わなければ使えなくなるので、こういった教室にはぜひ積極的に参加して、みんなで楽しみながら認知症を予防しましょう」。

介護予防主任運動指導員
濱谷 由利さん
(株式会社ニチイ学館)



全6回で脳を活性化!
認知症予防プログラム
みんなで笑って楽しく脳教室
参加募集

- ▼ 内容①「講話」
 - ・ 認知症とは
 - ・ 認知症の種類
 - ・ 有酸素運動の継続法
 - ・ エピソード記憶
 - ・ 注意分割能力
 - ・ 計画力など
- ▼ 内容②「運動」
 - ・ ストレッチ
 - ・ リズム体操
 - ・ 健口体操
 - ・ 有酸素運動
 - ・ 筋力トレーニングなど
- ▼ 日時(平成24年)
 - 1月26日(木)
 - 3月1日(木)
- ▼ 毎週全6回コース
13時~15時の2時間
- ▼ 場所
コスモス保健センター
- ▼ 対象者
町内在住の65歳以上
- ※ 要支援・要介護
認定者は除きます
- ▼ 申し込み期限
1月12日(木)まで
- ▼ 定員 20人(先着順)
- ▼ 申し込み
問い合わせ先
役場福祉課
介護保険係
☎22-7763

認知症早期発見のめやす

いくつか思い当たれば、医療機関にご相談を。

- 物忘れがひどい
「たった今のことを忘れる」「同じことを何度も言う」「「お金などを盗まれたと人を疑う」
- 判断力、理解力が衰える
「ミスが多くなる」「新しいことが覚えられない」「話のつじつまが合わない」「テレビが理解できない」
- 時間や場所が分からない
「時間や場所を間違える」「慣れた道でも迷う」
- 人柄が変わる
「怒りっぽくなる」「頑固になる」「人のせいにする」
- 不安感が強い
「一人になると怖がったり寂しがったりする」「持ち物を何度も確かめる」「頭が変になったと訴える」
- 意欲がなくなる
「身だしなみを構わなくなる」「趣味や楽しみに関心がなくなる」「ふさぎ込んで何をするのも嫌がる」

脳 はわたしたちのあらゆる活動をコントロールしている司令塔。それがうまく働かなければ、当然、心や体に影響が出てきます。「認知症」とは、病気などが原因で脳の働きが悪くなり、生活に支障が出ている状態のことをいいます。原因となる病気によってもいくつかのタイプに分かれますが、その症状や進行速度には、かなりの個人差があります。一般的には高齢者だけの病気と思われがちな認知症。しかし



認知症を引き起こす病気は数多くあり、いつ、誰にでも起こりうるのです。働き盛りの世代で認知症になる「若年性認知症」も近年急激に増加しており、生活習慣病と密接に関係しています。

神経細胞が減って脳が萎縮する「アルツハイマー型」、脳梗塞などでその部分の脳の働きが悪くなる「脳血管性型」などが大半。

認知症自体を根本的に治療する方法はいまだ確立されていませんが、認知症の進行を遅らせる薬は開発されています。また、認知症の原因となっている病気を治療することで症状が緩和する場合もあるので、早めに原因を見つけて治療に専念することが、結果として本人や家族の負担を軽くすることにつながります。

認知症の相談は内科でも可能です。治療は早い方が効果的ですので「もしかして」と思うことがあれば、ぜひ早めにかかりつけ医にご相談ください。



日本認知症学会認知症専門医
小野 いつみ先生
(丹城中央クリニック)

認知症は予防できても、完全に防ぐことは不可能です。
最愛の家族が認知症になった時：
あなたは、どのような対応ができるでしょうか。
認知症という病氣と闘った家族の現実を、
介護を終えたお二人に振り返ってもらいました。



岩根 真美さん(弁城)

Mami Iwane

岐阜で母と暮らしていた父を地元へ迎えて同居
今年10月に父が亡くなるまで献身的に介護

「認知症」と初めて向き合った当初は戸惑いを隠せませんでした。

決意した父との同居

岐阜で母と二人暮らしをしていた父は、6年程前、70歳ごろから認知症の症状が始めました。電話ごとに検査を勧めた時は「そこまでしなくても」と言っていた母。しかし、やはり精神的な疲れが重なったのか、その2年後、母は病に倒れ、入院してしまいました。岐阜へ行き、わたしは初めて父の症状を目の当たりにしました。その時、父が一人で暮らすことも、

母と二人で暮らすことも厳しいと感じました。姉が仕事をしながら入院中の母の世話をしてくれたので、わたしは福智町で父と同居することを決意。父は住み慣れたまちを離れたがらず、また、父母を離ればなれにすることにも胸が痛む中での、苦渋の決断でした。

認知症と向き合った日々

知らない土地での新たな生活は、父にとって大きなストレスに

なったかもしれません。わたし自身も認知症と向き合うのは初めてで、理解できない面が多々あったと思います。今ならもっと別の行動ができたかもしれません。当初はどうしても父と口論になることが多かった。夜中も対応する中で、精神的な疲れもかさみます。口論の途中で、父にキッチンばさみを突きつけられたり、家を飛び出されたこともありました。

この4年半、度重なる環境の変化が影響したのか、父の認知症はかなり進行していききました。最初は、声をかけてもこちらを見ることはありませんでしたが、これまでの気持ちを込めて日々病院へ通い、娘として精いっぱい親孝行をしたつもりでいます。

意識の変化が行動に

父の前には、夫の母のお世話をしてきましたが、振り返ってみると、知らないうちに自分の意識も変化してきたように感じます。特に高齢者を気にかけられるようになり、もし自分の親だったら…と置き換えて考えるようになってきました。

今はご近所の一人暮らしのおばあちゃんの通院を、週2回ほどお手伝いしています。遠くにいる母にはしてあげられないので、自分が動けるうちは力になりたいと思って。自分自身も、いつ心細い立場になるかわかりませんが、支え合える部分は、無理のない範囲で支え合えたらと思っています。

強制退院させられた父

父に認知症の症状が現れたのは10数年前。最初は同じ言葉を繰り返す程度で、特に支障はありませんでした。でもある時、脳梗塞で搬送され、その入院先で父が荒れたため「今すぐ迎えに来てください」と電話が…。次の病院でも同じことがあり、脳梗塞を治療できる病院を転々しました。退院後は自宅と一緒に居ましたが、だんだん外出先から一人で帰

ることができなくなり、朝、目を覚ますと父がいなくて探すことも度々ありました。近所の人が家まで連れてきてくれた日もあり、このままでは危ないと、認知症をみとくれる病院の門を叩いたのです。

見捨てるような罪悪感

入院を受け入れてくれる病院を転々とし、家族が不安を抱えているというケースは少なくありません。同居だと病気の進行に慣れ

るため、対応や治療も遅れがちになります。特に、一緒に暮らしている親を病院へ入院させるとなると「お世話を諦めて見捨てる」という罪悪感をすごく感じるんです。父が「なんで入院せなと？家に帰りたい」と訴えるため、一度退院させたことがありました。しかし毎晩、30分おきに起こされ、わたしはつい「いい加減にして！」と父に怒鳴ってしまったんです。そうして結局、再度入院を選択。

受けるのと、父にとってはどちらが幸せなのか」と考えました。「家族が精神的なストレスを重ねながら追いつめられて接するより、規則正しい生活と安全が得られる方がいいのではないかと。父も最初は病院を嫌がりましたが、少しずつ慣れ、やがて落ち着きました。ある程度互いの距離をおくことも大切だと、その時実感しました。

「父がかわいそう」「でもみれない」その板挟みに悩み苦しみました。

互いに最善の選択肢を

悩む中で「自分が家でみるのと、病院や施設でちゃんとしたケアを

現在では介護保険制度があり、入所やショートステイ、デイサービスなども利用できます。また、各地で相談事業も行われているので、ぜひそれらをうまく活用し、介護の負担を抱え込みすぎないようにしてください。本人も家族も基本的な生活が守られることで、良い関係を保てるものだと思います。



辰島 妙子さん(金田)

Taeko Tatsushima

仕事と子育て、同居の父の介護を同時期に経験
町社会福祉協議会 在宅介護支援センター 職員

心のバリアフリーを

足の不自由な人は、杖などの道具を使って自分の力で動くことができます。また、駅やお店でも、段差をなくすなどのバリアフリー化が進められています。しかし、認知症の人には、自分の障害を補う「杖」がありません。認知症の人には、認知症を正しく理解し、さりげなく支えてくれる家族や周囲の人こそが最大の「杖」。今後は世間の「心のバリアフリー」を進めていくことが必要とされています。あらゆる場所に温かく見守ってくれる人がいれば、自分でやれることもずいぶん増え、安心して生活ができるはずです。

実際に認知症の人と接する際には、まず「認知症に伴う認知機能の低下があること」を正しく理解していることが第一です。認知症は「単なるもの忘れが激しくなった状態」ではなく「脳の病気のひとつ」。しかし、何もできなくなったり、すべてが分からなくなるわけではありません。自身の変化への不安で、誰よりも悲しみ苦しんでいるのは本人です。困っていることにはそつとお手伝いや工夫をするなど、どうか相手の心を思いやった対応を心掛けてください。

認知症と向き合う

いつか、あなたや、あなたの家族が「認知症」になる時が来るかもしれません。その時、周囲からそつと手が差し伸べられれば、どんなに心強いでしょう。今後ますます増える「認知症」について、わたしたちは無関心にならず、「自分たちの問題」として、正しい対応を考えることが大切です。

わたしたちができること

「突然家族が認知症になり、現実を受け入れられずにパニックに陥るかたもいます。同居の家族に對して、万が一の時にどういう支援の仕方をするかシミュレーションしておくことが、共倒れなどを避けるためには有効です」と田川・桂川支部地域包括支援センターの三浦節子看護師。高齢者の生活や介護に関する悩み・問題に對して、総合的な支援を行っています。

家族の誰かが認知症になったとき、最初は誰しも少なからずショックを受け、対応に戸惑います。家族自身もまだ認知症に對して正しく理解できていない場合が多く、周囲の偏見を気にして「人に知られたくない」と思ってしまったたり「迷惑をかけるのでは」

といった不安から、誰にも打ち明けられずに一人で悩み苦しんでいる人も少なくありません。

認知症の問題には、きれいな事では済まされない難しさがあるのは事実です。そんな中で日々戦う患者本人や家族に對して、わたしたちができることは限られているかもしれませんが、「応援しよう」「応援しよう」という気持ちを表すだけでも、悩み苦しむ人にとっては心の支えになるはず。大切なのは、人を思いやり、自分にできることをやろうとする「支え合いの心」ではないでしょうか。



オレンジリング
Ninchisho Supporter
Orange ring

オレンジリングは認知症講座の受講生に渡される「認知症サポーターの証」。学んだことを日常の中で生かし、認知症のかたやその家族への支援を、自分にできる範囲で行います。

参加募集

家族介護者を対象
とした集いの場

さわやか
家族の会

認知症患者の家族が集まり、日ごろの悩みを話したり、情報交換をしたりする場です。一人で悩まず、ぜひ一歩踏み出してみませんか。参加は無料です。

日程 偶数月の第3回(12月は20日)

時間 13時30分～15時30分

場所 スマイルプラザ田川(田川市総合福祉センター内)

田川保健福祉事務所健康増進課 ☎ 42-9307

相談所の紹介①

平成18年に全国に設置され、地域で暮らす高齢者のみなさんやその家族を、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支えています。

福岡県介護保険広域連合 田川・桂川支部 地域包括支援センター
☎ 42-9420 (田川市新町11番47号)



田川地区で毎月4200件の相談を受けつけています

相談所の紹介②

相談や情報提供、訪問等を行います。

福岡市協在宅介護支援センター

☎ 22-6767 (福岡市金田1154番地2)

福岡市方城在宅介護支援センター

☎ 22-6556 (福岡市弁城3557番地1)

在宅介護支援センター 田んぼ園

☎ 22-9077 (福岡市伊方4227番地2)



方城在介センターが行う「ほのぼの介護予防教室」

福岡県介護保険広域連合
田川・桂川支部地域包括支援センター

三浦 節子 看護師

Setsuko Miura

認知症を学び 地域で支える

「認知症サポーター養成講座」



←5月に第1回、9月に第2回を開催。参加した60人は、認知症に対する正しい知識を身に付けた「認知症サポーター」となりました。

認知症サポーター養成制度は「認知症の人とその家族の応援者」を育むことで、認知症になっても安心して暮らせる地域社会を目指して、6年前に始まった制度です。全国で養成されたサポーターは今年3月に250万人を突破。福智町でも本年度から養成講座を実施し、今年5月に行われた第1回講座では、申し込み開始2日で定員に達するなど、注目が集まっています。

【第3回 認知症サポーター養成講座】

日時 12月22日(木) 10時～12時

場所 コスモス保健センター

申込期間 12月5日(月)～15日(木) (定員30人)

☎ 福智町ほのぼの館 ☎ 22-6290

参加者の声①



谷川 茂子 さん(伊方)

認知症に対する誤解や認識不足から、心ない言葉が本人や家族を傷付けてしまうケースもあるようです。このような身近な問題を解決するには、多くの人が

正しい知識を身に付けるほかありません。そのきっかけとしても、非常に良い取り組みだと思いました。

参加者の声②



折戸 佳子 さん(金田)

地域の中では、誰が認知症なのか分からない状態でサポートする必要がありますが、誰に對しても思いやりを持って接するのは、本来当たり前のこと。難

しく考えずに、できる限り多くの人が1回ずつでも参加して、地域の共助意識が高まればと思います。

生活に寄り添う見守り

「歩かんと、歩けんくなるきね」と毎朝のどかな住宅地を散歩する高崎アキノさん（92歳・伊方）。地域の見守りに支えられ、今日も和やかな笑みを浮かべます。夫を亡くし、女手一つで5人の子を育てたアキノさん。昨年、認知症の薬を飲み始め、末娘の恵子さんが毎日通いながら寝泊まりして、生活をサポートしています。

「私が帰る際に『何か悪いこと言ったかね、言ったらごめんね』と母が涙することも。その度『産んでくれて、お世話させてくれてありがとう』って心から伝えます」と恵子さん。互いに思いを伝え合う大切さを実感しています。

アキノさんが住む鶴ヶ丘地区では、普段から声を掛け合う見守り活動が活発。区長・民生委員・福祉委員が独居老人宅を毎週訪問し、つながりを育んでいます。

「よう知った所で暮らすのが一番

ありがたい」と鶴ヶ丘を元気に歩くアキノさん。地域に見守られる安心感が、毎日の生活に寄り添っています。



日頃の感謝を伝えるアキノさんに「娘だから当たり前よ」と涙した恵子さん。

鶴ヶ丘民生委員 佐藤 洋征 さん

高崎さんはもちろん、地域のかたとのあいさつは欠かせません。日ごろからつながりを作ることで、空き巣や詐欺などの情報も共有でき、防犯対策にも役立っています。



鶴ヶ丘区長 丸山 勇吉 さん

誰もが安心して暮らせる地域を目指して、一人暮らし高齢者の家の見回りを実施しています。高崎さんもそのうちの一人。みなさんから「ホッとする」と喜ばれていますよ。



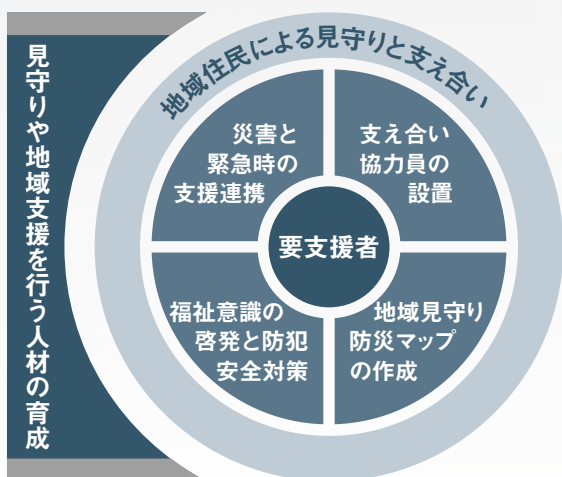
住みたい地域で住み続けられる つながりの輪

町の高齢化率は25.8%で4人に1人が高齢者、約5軒に1軒が高齢者の一人暮らし世帯です。障がい者や乳幼児などを合わせると、災害時に何らかの支援が必要なのはおよそ5人に1人。さらにもその数は今後増え続けます。とても一部の人だけで対応できない今、より多くの人が地域で支え合うネットワークが求められます。

そのための仕組みづくりを提案し、行動につなげる町の取り組みが、本年度から始動した「地域支え合い体制づくり事業」です。この事業で、日常の見守りや災害時の支援が必要な人が地域内にどれだけいるかを把握し、地域で支え合える備えや対応が進められます。同時に、認知症と予防法の知識を得たり、危険箇所や防犯箇所を確認しながら、地域の福祉力向上につなげていきます。

9月に町内の全84行政区に募集し、本年度の12のモデル地区が決定。現在、各地区ごとに説明会が行われ、具体的な活動が進められています。

地域支え合い体制づくり事業



未来へつながる一歩

「人は一人では生きていけないのだから」と、地域で活動参加を呼びかける持丸勝利さん（弁城）。昔ながらの共助の大切さに目を向け、地域内で話し合っモデル地区に手を挙げました。持丸さんは「いろんな立場や世代が協力すれば、誰もが安心して暮らせる地域になるはず」と期待しています。

一人の活動は限界のある小さなもの。しかし例え小さくても、支援が必要な時に差し伸べられる身近な手は、とても大きな存在です。それが地域へと広がれば、さらに大きな心の支えとなります。

「時間や余裕が無い」「自分のことで精一杯」そんな心で過



弁城新町区長 持丸 勝利さん

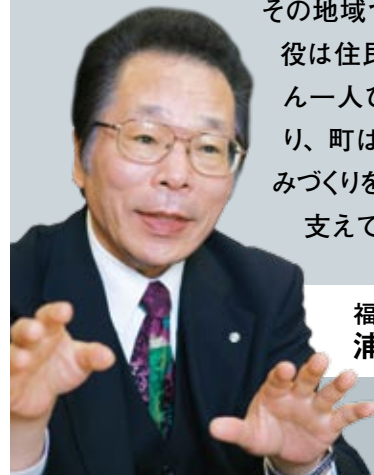
ごしがちな現代。そこで足を止め「命」や「生活」という深い視点で地域を見つめてみると、その関わり方も変わってくるのではないのでしょうか。一人ひとりが一歩踏み出せば地域は変わる。いずれ自分に返ってくる。少しの歩み寄りが大きな輪へと広がります。時間がかかって、まずは一歩ずつ。現状と向き合い、知ることが、見守りや支え合いという行動に表れ、やがて生活の一部へとつながっていきます。

地域力が心支える支柱になる 一人ひとりがその主役です

隣人を知らないなど、かつては考えられなかったこと。しかし今、全国的に親身に助け合える環境が激減しています。私は安心してゆとりある生活を送るには「心の支え」が欠かせないと思っています。地域で見守り、気にかけるつながりや支え合いが身近にあれば、どれだけ「心の支え」になることか。町では、そんな「住みたい地域で住み続けられる活動」に本年度から取り組み、来年度以降もその輪を広げていく予定です。

心つながる地域という存在は、まちを作っていく上での最も大きな基礎です。この基盤がなければ、真の意味でのまちづくりはできません。今回の東日本大震災でも示されたように、緊急時に最も力を発揮するのは地域です。

その地域づくりの主役は住民のみなさん一人ひとりであり、町はその仕組みづくりをしっかりと支えています。



福智町 浦田 弘二 町長

「ここは優しい人たちがばかり、みんなようしてくれる」とアキノさん（中央）。「声掛けのうれしさが分かるから、私も地域の高齢者に声を掛けています」と恵子さん（左）。「アキノさんは地域の最高齢者、いつまでも長生きして」と民生委員の佐藤さん（右）。





佐伯 洋子さん
金田／68歳
バレーボール

yoko saeki



バレーを続けて35年
モットーは心と体の健康です

「声出してこう!」「いけるいける!」「あ〜惜しい!」と、にぎやかな声が体育館の外に響き始めた夜8時。バレーチーム「金田レモンズ」の週に2回の練習日です。35年前に未経験者ばかりで結成された「レモンズ」も、長年続けているうち、各大会での優勝は数え切れないというほど強くなりました。しかし練習風景はいたって明るく和やかな雰囲気。人一倍気さくでムードメーカーの佐伯洋子代表(金田)は「体を動かすことはもちろん、笑ったり叫んだりして大きな声を出すと、ストレス解消にもなる。楽しみながら心も体も健康になって、一日でも長く笑顔で過ごしたい」と目標を語りました。



↑ 現在メンバー12人全員が60代というバレーチーム「金田レモンズ」。ぜひご見学ください! 練習日時▶毎週 月・金 20:00〜22:00 場所▶月・金は金田体育センター(神崎) 金は金田小体育館

浦中 幸一さん
赤池／72歳
家庭菜園

koichi uranaka



野菜は愛情が一番大切
注いだ分だけかえってきます

庭の小さな畑を浦中幸一さん(赤池)が義母から譲り受けてまだ数年。現在、畑ではパプリカ、ホウレンソウ、ナス、サニーレタスなど約12種類もの野菜が場所を奪い合いながら育まれています。今年、時期をとくに過ぎた11月まで3千個の実をつけて周囲を驚かせたミニトマトを収穫しながら「野菜は愛情次第」と言い切る浦中さん。雑草は1cmにも満たないうちからピンセットで1本ずつ取り除き、虫が寄りつかないように見張るなど、1日約7時間を畑作業に費やします。「野菜は生きているのだと感じます。素人ですが、愛情を注いで徹底的にやれば応えてくれる。とても生きがいを感じていますよ」。



↑ できた野菜は孫に送ったり、近所のかたに食べてもらったりしているそうです。「野菜嫌いの長男が、うちの野菜だけはおいしいうちで食べてくれるんですよ」と満足げな浦中さん。

千手 律子さん
金田／63歳
工芸・民謡・体操

noriko senju



退職前より多忙な毎日
人とのつながりが宝物です

人形づくり、古布でのバッグづくり、布花、押し絵、民謡、ストレッチ、フラメンコ体操…「ずっとやってみたかった」という7つの習い事を、退職後に始めた千手律子さん(金田)。団体や地域の役も7つほど受け持ち、さらに町内のあらゆるイベントでの司会のボランティアもこなすため、スケジュール帳は退職前よりも隙間無く真っ黒です。「声を掛けてもらえるのはありがたいし、外に出て人と接することが大好きなので、役やボランティアも楽しみながらやっていますよ」と話す千手さん。プラス思考で明るい性格に加え、何にでもチャレンジする意欲と行動力が、毎日を輝かせています。



↑ 11月の文化祭芸能発表会で舞台上に立った千手さん(左)。退職後もますます交流の輪を広げており「人とのつながりが宝物、おかげで充実した毎日です」と周囲に感謝を表しました。

運動教室(ステップクラブ)



運動教室 園 保健課 ☎28-9500

「ステップクラブ」「いきいき体操クラブ」「コツ・骨教室」「はつらつ運動教室」「健康づくり教室」が週1回、町内の保健センターなどで行われています。対象年齢や時間などの詳細は、来月号の広報に掲載されます。

高齢者大学 園 生涯学習課 ☎28-4100

町内の50歳以上が対象。毎年6月からの半年間、週に1回、一般教養講座と専門講座(俳句、民謡、書道、ダンス、歌謡、弓道、陶芸、コーラス、園芸など)を学べます。来年度の申し込みは4月以降に行います。



高齢者大学(一般教養講座)
「上野焼を作ろう」

生きがいデイサービス(趣味の教室/革手芸)



生きがいデイサービス

※審査等があります。

園 社会福祉協議会地域福祉課 ☎22-3778

町内の65歳以上^{*}が対象。入浴や食事、健康チェック、趣味の教室(書道、絵画、革手芸、フラワーアレンジメント、トレーニング、カラオケ)などに週2回まで参加できます。

特集●笑顔でしわを増やそう

第2幕

セカンドライフ

町内にはたくさんの「学びの機会」や「集いの場」があります。
「もう年だから…」と諦めずに、勇気を持って一歩踏み出してみると、
あなたの“これから”を笑顔にする「人」や「物」との出会いが待っているかも。
ここでは、とっておきの「生きがい」をみつけて輝く、6人のかたをご紹介します。



「生きがいデイサービス」で作られた作品は、毎年文化祭で展示されています。

福智町健康づくり運動普及推進員代表
桑野 寛子さん(弁城)

まずは外に出て週1回でも人に会い、テレビとは違う“生の声”を聞いて刺激を受けることが、健康づくりの第一歩です。



気軽にご利用ください! 町内の福祉施設

金田社会福祉センター



☎ 福智町金田1154番地2 / ☎22-6631
🕒 9:00〜16:00 / 🗓 第1、3、5の日曜日と祝日、お盆、年末年始

福智町社会福祉協議会が運営し、地域の福祉増進に取り組んでいます。食堂(☎休み)、入浴(☎休み)、電気治療、マッサージ器、カラオケ、囲碁、将棋などが楽しめる憩いの場です。

コスモス保健センター



☎ 福智町赤池970番地1 / ☎28-9500
🕒 8:30〜17:15(部屋ごとに利用時間が異なります) / 🗓 祝日、お盆、年末年始

レストラン、入浴(☎休み)、電気治療、マッサージ器、カラオケ、トレーニングルーム(平日21時まで)などが利用可。水彩画や版画などが飾られた廊下のギャラリーも、ぜひご覧ください。

福智町老人クラブ連合会
箸原 雄次会長(金田)



つながりは一度失
うと、取り戻すこ
とが難しいもの。
高齢者は増えてい
ますが老人会がな
くなる地域もみら
れます。みんなが積極的に地域活動
に参加し能力を発揮することで、つな
がりも生まれ、高齢者が主体となれる
社会が築けるのではないのでしょうか。

世界一の長寿社会となった日本。「高
齢化社会」は、高齢者が主役になり得る
社会です。支えられるだけでなく、支
える担い手として、高齢者が元氣な社
会は、大きな可能性を秘めています。
地域や社会は、豊富な経験と知識を
持った高齢者の活躍を必要としていま
す。しかし「もう年だから」と自分に
ブレーキをかけ、社会とのつながりを
閉ざしてしまう人も少なくありません。
セカンドライフ(第二の人生)は、本人
が楽しみ、活力を得ながら、地域や社
会も元氣にできるステージ。その活躍次
第で、町や地域も二層活性化します。
心の扉を開いて一歩踏み出せば、ひと
ものこと・知識など、ワクワクするよ
うな出会いが待っています。自由にな
る時間をもっとすてきに…。ぜひ有意
義で喜びに満たされる「幸せな人生」を
コーディネートしてみてください。

素敵で幸せな第二の人生を



町内44地区が実施している「ふれあい交流」は、地域の60歳以上の主体で運営され、つな
がり築く場として展開。今後、全地区へ広がる取り組みが進められます。写真は「生涯現役ばい」
「退職は引退やないけんね」など、元氣な会話を響かせた「弁城新町ふれあい交流」のみなさん。

長谷川 京子さん
市場／69歳
吟詠

kyoko hasegawa



30年越しの夢を達成
年をとるほど努力しています

27歳の時に吟詠の奥深さに
魅了された長谷川京子さん
(市場)。当初から数々の大会で優
勝を飾っていた長谷川さんですが、
目標としていた「吟士権」の取得
にはなかなか手が届かず、いつし
か挑戦を諦めてしまっていました。
しかし周囲が挑戦する姿に「この
ままでは終われない」と一念発起。
昨年、30年ぶりに西日本吟詠大会
に挑戦し、今年念願の「吟士権」を
手にしました。「年をとるほど努力
が必要で、自分との戦いです。西
日本吟詠大会では、あえて64歳
までの部に挑戦し、意欲を高めま
した」と長谷川さん。現在は年に1
人しか認定されない「最優秀吟士
権」を目指し、稽古に励む毎日です。



↑長谷川さんは週2回、吟詠を指導していま
す。興味のあるかたはぜひご見学ください。
稽古日時▶毎週 四 20:00～、毎週 四 13:30～
場所▶四は市場7区集会所、四は正蓮寺(伊方)

原田 福次郎さん
伊方／93歳
グラウンドゴルフ

fukujiro harada



仲間と過ごす時間に感謝
健康で生涯現役を目指します

今 年の福智町グラウンドゴル
フ大会決勝戦で、最高齢
者として出場した原田福次郎さん
(伊方)。ホールインワンを達成し、
周囲を仰天させました。グラウン
ドゴルフチーム福智町青空会で、
いつも行動を共にする妻のマサ子
さんと一緒に、週2回練習に励む
原田さんは「今の生きがいはグラ
ウンドゴルフ。ここに来たら仲間
がかわいがってくれるので、練習
日が待ち遠しいです」とメンバーを
見つめながら話します。「100歳に
なったらランニングを始め、今後
も常に体を動かしていきたい」と言
う原田さん。妻や仲間と喜びを共
有し、常に目標を持つことが生涯
現役を目指す糧となっています。



↑28人が所属する福智町青空会で実力が上
位の原田さん。「まだまだ若い人には負けませ
ん」と年齢が10歳以上も離れている仲間と、
一緒にプレーできる喜びをかみしめています。

谷口 マス子さん
弁城／72歳
ボランティア



masuko taniguchi



自分の世界を広げる第一歩は
諦めず挑戦することから

目の不自由なかたのために
広報紙などを音読するボ
ランティアグループ「青い鳥」で活
動する谷口マス子さん(弁城)。2
歳の時に発症した病気です右足に障
害が残った谷口さんは「みなさんに
助けられることが多いので、自分
は自分のことができることで人の役に立
ちたい」と、さまざまな人助けの活
動に励んでいます。幼いころは障
害のために引っ込み思案になり、
やりたいことを諦めた時もあった
という谷口さん。「同じ境遇ながら
前向きに頑張っている人との出会
いに励まされています。“できない”
と思い込まず、今後もしろんなこ
とに挑戦していきたいです」と語
る力強いまなざしが印象的でした。



↑今年5月発足の「車いすレクダンス普及会田
川支部」でダンスを楽しむ谷口さん(左)。11月
12日に三重県で開催された車いすレクダンス全
国大会にも出場し、出会いの輪を広げました。

ニュース

筑豊地区合同公売会

税の滞納解消のために 差押え財産を公売

問 福智町役場 税務課収納対策係 ☎ 22-7762



←会場となった田川市民会館の一室には家具、美術品、アクセサリーなどが並び、約3百人が詰め寄りました。

滞納者から差押えた物品を、筑豊地区の6市町と福岡県が合同で販売する「筑豊地区合同公売会」が、11月12日に田川市民会館で行われました。当日出品された221点のうち、134点が落札され、売り上げ金額は約60万円。福智町からも60点が出品され、その大半に買い手がつき、売却金額は滞納町税の解消にあてられました。滞納すれば、大切な財産が差押えられます。税は必ず納期限内に納付してください。

イベント

福智町観光セミナー

観光のまち福智町の 魅力と可能性が広がる

問 福智町役場 まちづくり総合政策課 ☎ 22-7766

観光の町を目指して動き始めた福智町。その魅力を磨き、可能性を広げる`とっておきの話。を聞いてみませんか？ みなさんのご参加をお待ちしています。

▶日時 **12月19日** 月 19:00～ **入場無料**
▶場所 公民館金田分館2階 (福智町金田1153番地1)



講師 ▶「九州のムラへ行こう」編集長 養父 伸夫さん

九州大学法学部を卒業後、リクルートに入社。1998年に独立し、都市と農村をつなぐグリーンツーリズムをはじめ、地域づくりやスローフード運動を広げる活動を精力的に行っている。(総務省地域力総合アドバイザー)



イベント

要保護児童対策講演会

地域のつながりで 幼い命と笑顔を守ろう

問 福智町役場 福祉課福祉係 ☎ 22-7763



←11月13日に行われた1回目の講演会。下肢関節委縮症で身長96cmの豊田詔さんが、自身の体験をもとに力強く語りました。

児童虐待防止を考える講演会が、11月から2回にわたって福智町要保護児童対策地域協議会の主催で開催されています。子どもたちの笑顔を守るためには、地域の力が必要です。ぜひ一緒に考えましょう。

▶日時 **12月11日** 日 10:00～ **入場無料**
▶場所 公民館金田分館2階 (福智町金田1153番地1)
▶演題 「地域に福祉を築く」
▶講師 古谷信一さん (行橋市民生委員児童委員協議会副会長)

お知らせ

平成23年度 福智町成人式

ホームタウン福智で 一生に一度の思い出を

問 福智町教育委員会 生涯学習課 ☎ 28-2046

懐かしい顔がそろい、当時の思い出がよみがえる「福智町成人式」が、次のとおり開催されます。町内在住者および赤池・金田・方城中卒業の対象者には、11月中に現住所あてに案内状を送付しています。

▶日時 平成24年 **1月8日** 日 14:00 開式
※今年度は午後の開式になり、受付は13:00から行います。
※式典・記念講話終了後、集合写真を撮ります(15:30終了予定)。
▶場所 福智町地域交流センター (福智町伊方4480番地1)
▶対象 平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ



←人生の大きな節目をふさぐことの仲間や恩師と喜び合い、ぜひ思い出話に花を咲かせてください。

ニュース

人権擁護委員に対する法務大臣表彰

長年の功績をたたえ 荒木氏に法務大臣表彰

問 福智町役場 人権・同和対策課 ☎ 22-7764

住民の基本的人権が尊重されるよう、日ごろから地域に密着した活動を行っている人権擁護委員。その長年にわたる活動がたたえられ、10月5日に荒木完治さん(赤池)が法務大臣表彰を受章しました。平成12年に人権擁護委員に任命され、県内外での勉強会や人権教室への参加、住民相談などに積極的に

取り組む荒木さん。「今回の受章を重く受け止め、今後も住民の人権擁護のために努めていきます」と話し、今後の活動に意欲を燃やしていました。



←人権が尊重された社会を築くために人権擁護活動に尽力する荒木さん。住民からの信頼も厚く、多様な相談に乗っています。

お知らせ

公的年金等を受給されているかたへ

公的年金の受給者は 確定申告前にご確認を

問 福智町役場 税務課賦課係 ☎ 22-7762

税制改正により、次の両方に当てはまる場合は、所得税の確定申告をする必要がなくなりました。ただし、これに当てはまる場合でも、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

- 1 公的年金等の収入金額(複数から受給している場合はその合計額)が400万円以下
- 2 公的年金等にかかる雑所得以外の所得金額が20万円以下(※住民税の申告は必要です)

「公的年金等にかかる雑所得以外の所得」の主なものの所得金額

所得の種類	所得の内容	所得金額の計算方法
給与所得	給与・賞与、パート収入等	給与等の収入額－給与所得控除 ※給与等の収入額が85万円を超える場合は、所得金額は20万円を超えることになります。
雑所得 (公的年金等以外)	個人年金、原稿料等	総収入額－必要経費
配当所得	株式、出資の配当等	収入額－株式などの元本所得に要した負債の利子
一時所得	生命保険の満期返戻金等	(総収入額－収入を得るために直接要した金額－特別控除額)× $\frac{1}{2}$ (最高50万円)

ニュース

金田小児童が通学合宿を体験

6泊7日の集団生活を 金田小児童が初体験

問 福智町教育委員会 生涯学習課 ☎ 28-2046



←最難関は全員での朝夕の食事作り。食進会の指導を受けながら毎食調理し、次第にコツを覚えていきました。

金田小の1～6年生13人が、11月6日から7日間、親元を離れ、共同生活を送りながら学校に通う「通学合宿」を体験しました。昭和58年に旧庄内町(現飯塚市)で始まった通学合宿は、体験から「生きる力」を身につけることを目的としており、福智町での実施は今回3回目。子どもたちは、日ごろ家族に頼りがちな調理や後片付け、洗濯や掃除などを協力して行い、家族の大切さや人との関わり方を見つめ直しました。

イベント

福智町人権講演会

考え方と意識が変わる 辛淑玉さんの講演会

問 福智町役場 人権・同和対策課 ☎ 22-7764

人権の大切さを一人ひとりが考え、誰もが幸せな社会をつくっていくために、人権講演会が開催されます。講師は、パワフルで引き込まれる口調が魅力の辛淑玉さん。毎回、参加者から「もっと聞きたい」と声があがるほどの迫力の講演を、どうぞお聴き逃しなく！

▶日時 **12月21日** 水 19:00～ **入場無料**
▶場所 同和対策研修センター (福智町赤池970番地4)
▶演題 「人権力を養う ～災害で見えたこと～」

▶講師 辛 淑玉さん
(人材育成コンサルタント)

1985年に人材育成会社(株)香科舎を設立し、企業、自治体などの人材育成指導、インストラクターの養成を手がける。各地で人権研修や論説を行い「差別と日本人」ほか著書多数。



滞納

滞納額は約32億7千万円

税金や使用料などで22年度までに納められなかった金額は、約32億7千万円まで膨らんでいます。今後も納期内に納付した人や納税義務の公平性を保つために、差し押さえや法的措置などの厳しい措置を行います。

平成22年度までの主な滞納額	
町民税	1億3,281万円
固定資産税	1億9,734万円
軽自動車税	2,496万円
国民健康保険税	2億3,602万円
保育料	8,024万円
住宅等使用料	2億3,813万円
住宅管理料	1,223万円
学校給食費	4,062万円
住宅新築資金等貸付金	20億1,576万円
水道使用料	2億8,592万円

地方債（普通会計）

町の借金残高は約223億円

年度を越えて元利を償還する借入金を「地方債」といいます。22年度末の残高は21年度から約3億7千万円解消し、約223億円となっています。福智町の場合、償還額の約66%が普通交付税措置されますが、多額の元利償還金は財政負担を圧迫しています。今後も合併効果を表しながら借金を減少させないといけません。



特別会計

国保と診療所が大幅な赤字を抱える

特定の事業を行うために一般会計と分けて設置される特別会計では、国保が約7億5千万円、診療所が約2億7千万円の赤字を出し、厳しい状況に直面しています。

区分	歳入	歳入歳出差引
住宅新築資金等貸与事業	1億9,065万円	3,080万円
国民健康保険	27億4,551万円	-7億5,460万円
後期高齢者医療	2億5,741万円	387万円
老人保健	436万円	355万円
町立診療所事業	5億4,458万円	-2億7,202万円
田川郡町村公平委員会	106万円	43万円
水道事業（収益的事業）	5億6,996万円	1,450万円

健全化判断比率・資金不足比率

早期健全化基準は全てクリア

健全化判断比率	福智町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 *1	— (△15.82%)	13.79%	20.00%
連結実質赤字比率 *2	— (△8.83%)	18.79%	40.00%
実質公債費比率 *3	14.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率 *4	— (△71.0%)	350.0%	—

健全化判断比率	福智町	早期健全化基準	備考
資金不足比率 *5	— (△90.1%)	20.0%	水道企業会計での算定

※赤字が生じない場合は「—」で表示。参考値の黒字比率を(△)内に掲載。

*1 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

*2 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

*3 借金の返済額等の大きさを資金繰りの危険度をみる比率

*4 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率

*5 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

決算概要 財政硬直からの脱却

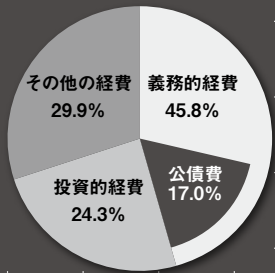
滞納解消・歳出の無駄を徹底的に省く

歳出を前年度と比較すると約12億4千万円の大幅な減額となっています。その要因は、公債費が7億2千万円の減額・町営住宅建設などを含む普通建設事業費が5億3千万円の減額によるものです。また、財政硬直化をはかる経常収支比率は4.3%減少したものの、93.1%と依然高い水準です。今後は、自主財源の根幹をなす税や使用料、貸付金などの徴収率の向上、さらに、歳出の無駄を徹底的に省くと共に、合併特例事業、過疎対策事業を効率的かつ有効的に活用し、中期財政計画をもとにして財政の硬直化からの脱却を図ることが急務な課題となっています。

一般会計歳出

歳出額は約151億円

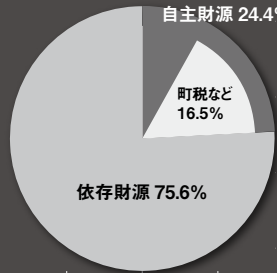
前年度に町が支出した一般会計の総額は151億円。これを性質別に見ると、人件費・扶助費・公債費の「義務的経費」が約68億9千万円で全体の45.8%、そのうち借金を返済する公債費は約25億6千万円で、全体の17.0%となっています。また「投資的経費」は約36億7千万円で全体の24.3%、そのうち普通建設事業費は昨年より5億3千万円減額の約28億4千万円で、全体の18.8%を占めています。



一般会計歳入

歳入額は約164億1千万円

町に入った昨年の一般会計の歳入は164億1千万円でした。内訳は、国や県に頼った依存財源が75.6%、町でまかなう自主財源が24.4%です。しかし自主財源には、基金の取り崩し（約3億3千万円）や前年度からの繰越金（約9億3千万円）が含まれ、町税などの収入は約27億1千万円で、全体の16.5%にとどまっています。依存財源の中で最も多い割合は地方交付税で、歳入全体の38.5%を占めています。



決算

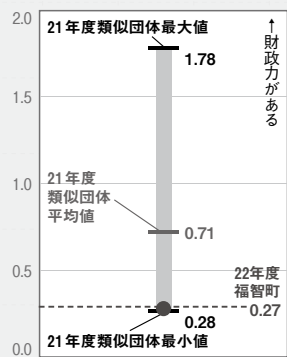
平成22年度 まちの財政通信簿

平成22年度決算がまとまりました。歳出決算額は約151億円で、実質収支は約13億円の黒字でした。前年度の町のお金と財産の現状、今後の課題をみなさんの目でチェックしていきましょう。

財政力指数

全国最低水準の財政力

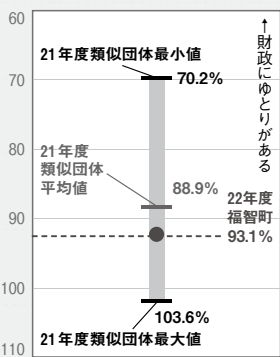
基準財政収入額を基準財政需要額で割った過去3年間の平均値が「財政力指数」です。指数が高いほど自力があり、指数が低いほど国への依存が強いといえます。福智町の財政力指数は21年度類似団体の最小値で、全国最低の水準です。今後、地場産業の活性化、企業誘致など財政基盤の強化により、税収入の確保が必要です。



経常収支比率

昨年度より4.3%減少も依然危険水準

人件費など毎年必ず必要とする経費を比較的安定している収入で割った指数が「経常収支比率」です。普通会計の経常収支比率は93.1%で、前年度より4.3%減少しましたが、21年度類似団体平均値を4.2%上回っており、依然として財政構造が硬直化しています。今後も継続して人件費などを含む経常経費削減の徹底を図ります。



基金（普通会計）

町の貯金残高は約135億円

法律や条例に基づいて設置される「基金」は、特定の目的のために活用できます。普通会計では24の基金があり、22年度末の残高は約135億円です。22年度は公債などを計画的に減らしていくための「減債基金」へ約6億円積み立てたことなどにより、基金総計では前年度と比較して約4億4千万円の増額となっています。



pick up 環境衛生係からお知らせ

【ごみ・し尿・犬猫の引き取り業務】
年末年始の休業日にご注意を！

年末年始は、ごみ・し尿収集業務、野犬捕獲および飼い犬と飼い猫の引き取りが次の期間休業します。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

▶ごみ収集休業期間
12月31日(土)～1月3日(火)
※清掃センターへの直接搬入は30日(金)まで。

▶野犬捕獲休業期間
12月17日(土)～1月3日(火)

▶飼い犬・猫の引き取り休業期間
12月22日(火)～1月3日(火)

▶し尿収集休業期間
かいた環境衛生 ☎ 28-3377
12月30日(金)～1月3日(火)
吉田環境整備 ☎ 22-0221
12月30日(金)～1月4日(水)
筑豊衛生環境 ☎ 22-1054
12月30日(金)～1月4日(水)

岡 役場住民課 環境衛生係 ☎ 22-7761

へいちくをご利用ください

年末年始にかけて忘年会や新年会など、お酒を飲む機会が増えてきます。安心して飲めて、環境にもやさしい鉄道利用をお勧めします。また、グループで使える金額回数券や一日フリー乗車券など、便利でお得な切符もありますので、ぜひご利用ください。

岡 平成筑豊鉄道 ☎ 22-1000

人権週間講演会

人と人のつながり「絆」をテーマにした「震災・原発事故と人権」の講演会や

110番は事件事故の緊急通報専用電話で、全て警察本部の通信司令室につながります。警察に対する相談、要望は#9110にお願いします。

岡 田川警察署 ☎ 42-0110

1月10日は110番の日

交通事故でお困りの人は、お気軽にご相談ください。

日時 12月19日(日)10時～15時
場所 田川市役所市民課
岡 福岡県交通事故相談所
☎ 092-6022-0403

福岡県巡回交通事故相談

「星守る犬」の映画上映などがあります。

日時 12月10日(日)12時15分～
場所 春日市クローバープラザ
岡 福岡県人権啓発情報センター
☎ 092-584-1271

町立図書室の休室日のお知らせ

町内3か所の図書室の年末年始の休室日は12月28日(水)～1月3日(火)です。お間違えのないようご注意ください。

岡 教育委員会生涯学習課
☎ 28-4100

子育て支援センター行事

就学前の親子が対象です。すべて10時30分開始。お気軽にご参加ください。

①誕生会 ▼12月9日(金) (要予約)

補聴器相談

①日時 12月9日(金)9時～10時
場所 福智町役場 本庁舎
②日時 12月12日(月)13時～14時
場所 福智町役場 方城支所
③日時 12月12日(月)15時～16時
場所 福智町役場 赤池支所
岡 役場福祉課 ☎ 22-7763

冷蔵倉庫用家屋の固定資産税

固定資産評価基準の改正により、平成24年度から評価額の計算方法が変更されます。この改正により、「冷蔵倉庫」に該当すると、一般の倉庫に比べて評価額が早く減少する場合があります。対象は次の要件全てに該当するものです。所有している人は、実地調査が必要となりますので、ご連絡ください。

① 非木造(鉄骨造など)
② 保管温度が摂氏10度以下
③ 倉庫そのものに冷蔵機能がある
④ 冷蔵倉庫部分が床面積の50%以下

岡 役場税務課 ☎ 22-7762

子育て支援センター ☎ 22-2401

心配ごと相談

12月17日(日)は司法書士による特別相談を実施します。特別相談は事前予約が必要。相談は無料です。

①日時 12月8日(日)10時～15時
場所 公民館方城分館
②日時 12月17日(日)10時～15時
場所 金田社会福祉センター
③日時 1月5日(日)10時～15時
場所 福智町役場 赤池支所
岡 福智町社会福祉協議会
☎ 22-6031

※12月生まれのお子さんは7日(火)までに予約してください。

②親子リズム遊び ▼12月16日(金)
③クリスマス会 ▼12月20日(火)
※9日(金)までに予約してください。
※年末年始の休みは12月29日(日)～1月3日(火)までです。

↑クリスマス会ではサンタさんからプレゼントがもらえるかも…。ぜひ親子で楽しいひとときを満喫してください。

原発について学びませんか

▼公開講演会開催
日時 12月17日(日)14時～16時

岡 ふれあい塾を支える会 竹宗会長
☎ 090-1342-6345

↑新年の幕開けに、四囲を妨ぐものがない見晴らしから初日の出を拝んでみませんか。お気軽にご参加ください。

年末の交通安全県民運動

福岡県では、飲酒運転の撲滅と高齢者の交通事故防止を重点目標に掲げ、12月11日(日)から12月31日(火)までの21日間、年末の交通安全県民運動を実施します。安全運転に努めましょう。

岡 役場総務課 ☎ 22-0555

初日の出登山に参加しませんか

日の出前にスタートし、目指すは標高約200メートルの日主山山頂。高齢者やお子さんも安心して登山できます。

日時 1月1日(日)6時出発
集合場所 ふれあい塾キャンプ場
持参する物 懐中電灯、防寒具など

佐古橋架替工事のお知らせ

県道方城金田線佐古橋(弁城迫地区)の老朽化により、架替工事を行います。工事内容は、迂回路設置・旧橋撤去・新橋設置です。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

工事期間 12月～平成28年3月まで
岡 田川県土整備事務所 ☎ 42-9115

歯科休日診療のお知らせ

田川歯科医師会では、年末年始の休日診療を実施します。

診療日 12月31日(火)～1月3日(木)
時間 9時～12時まで
場所 田川口腔衛生センター(田川市)
岡 田川歯科医師会 ☎ 42-3095

産業別最低賃金の改正

12月10日付けで福岡県産業別最低賃金(時給)が改正されます。

▼製鉄業、製鋼、製鋼圧延業、鋼材製造業 828円
▼電子部品・回路・機械器具、デバイス、情報通信機械器具製造業 786円
▼輸送用機械器具製造業 809円
▼百貨店、総合スーパー 758円
▼自動車(新車) 小売業 800円
岡 福岡労働局労働基準部賃金課
☎ 092-411-4578

普通救命講習Ⅰ開催

田川市郡に居住もしくは勤務している15歳以上の人を対象に、受講無料で

みんなでおしゃべり会

子育てについて一人で悩まず、おしゃべり会に参加しませんか。

日時 12月15日(日)10時～12時
場所 コスモス保健センター会議室1
岡 子育てアドバイザー 岸谷さん
☎ 090-7380-4558

募集締切 1月6日(金)
岡 福岡障害者職業能力開発校
☎ 093-741-5431

障がい者の職業訓練生募集

北九州市若松区の福岡障害者職業能力開発校では、平成24年度の訓練生を募集しています。科目は7科あり、1年間訓練を行います。

応募資格 身体障害者手帳所持者、または取得可能な人
募集締切 1月6日(金)
岡 福岡障害者職業能力開発校
☎ 093-741-5431

このころの健康相談

心の悩みや病気についての相談窓口を開いています。お気軽に相談ください。

日時 12月13日(火)10時～
場所 田川保健福祉事務所4階
岡 田川保健福祉事務所
☎ 42-9007

年末の交通安全県民運動

福岡県では、飲酒運転の撲滅と高齢者の交通事故防止を重点目標に掲げ、12月11日(日)から12月31日(火)までの21日間、年末の交通安全県民運動を実施します。安全運転に努めましょう。

岡 役場総務課 ☎ 22-0555

初日の出登山に参加しませんか

日の出前にスタートし、目指すは標高約200メートルの日主山山頂。高齢者やお子さんも安心して登山できます。

日時 1月1日(日)6時出発
集合場所 ふれあい塾キャンプ場
持参する物 懐中電灯、防寒具など

事件・事故発生件数

福智町での10月中の件数です。

【事件発生件数 11件】
オートバイ・自転車盗難 ▼4件
車上荒らし ▼5件 万引き ▼0件
空巣・忍び込みなど ▼2件
【事故発生件数 7件】
死亡 ▼0人 負傷者 ▼10人

年末年始の火葬業務について

田川地区斎場の年末年始の休日は、1月1日(日)のみです。2日(火)から通常どおり火葬業務を行います。

岡 田川地区斎場組合 ☎ 42-8002

住居・生活困窮者相談支援

年末に向け、住居、生活、仕事にお困りの人に対する相談を強化するため、12月未までハローワーク田川に専門相談窓口や情報コーナーを設置しています。お気軽にご相談ください。

岡 ハローワーク田川 ☎ 44-8609

普通救命講習Ⅰを行います。

日時 1月22日(日)9時～12時
場所 田川地区消防本部2階講堂
受付期間 12月15日(火)～1月13日(金)
岡 田川地区消防署金田分署
☎ 22-0007

このころの健康相談

心の悩みや病気についての相談窓口を開いています。お気軽に相談ください。

日時 12月13日(火)10時～
場所 田川保健福祉事務所4階
岡 田川保健福祉事務所
☎ 42-9007

障がい者の職業訓練生募集

北九州市若松区の福岡障害者職業能力開発校では、平成24年度の訓練生を募集しています。科目は7科あり、1年間訓練を行います。

応募資格 身体障害者手帳所持者、または取得可能な人
募集締切 1月6日(金)
岡 福岡障害者職業能力開発校
☎ 093-741-5431

みんなでおしゃべり会

子育てについて一人で悩まず、おしゃべり会に参加しませんか。

日時 12月15日(日)10時～12時
場所 コスモス保健センター会議室1
岡 子育てアドバイザー 岸谷さん
☎ 090-7380-4558

募集締切 1月6日(金)
岡 福岡障害者職業能力開発校
☎ 093-741-5431

障がい者の職業訓練生募集

北九州市若松区の福岡障害者職業能力開発校では、平成24年度の訓練生を募集しています。科目は7科あり、1年間訓練を行います。

応募資格 身体障害者手帳所持者、または取得可能な人
募集締切 1月6日(金)
岡 福岡障害者職業能力開発校
☎ 093-741-5431



四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

はな・落の憂句会

池田一步選

散り急ぐ木の葉に時を乗せながら
野菊晴思はず空へ深呼吸
そろそろ寒時間遅らせ朝散歩
部屋整理冬着点検などとして
朝露に驚の声して神無月
秋蟬の過客の如く消えゆきし
外国の銀杏落葉を踏みにけり
法堂の案内は黒衣霧の中
長き夜やいつしか嫁が母のやう
侘びしさを募らす風の冬紅葉

本島真知子
桑野 園女
井上タミ子
永末 公恵
日高八重子
松本 三男
香月 眸
高津 澄子
熊谷カツミ
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

里祭り生き神さまも酒が好き
カルストの夜は億年の星明り
園児らに刈られし稲穂元気色
秋の蚊を四五匹つれて犬帰る
じっとしてをれぬ性分夜や長し
団栗の帽子被りてこんにちは
そぞろ寒閻魔の睨み深きかな
山姥の昔話や蕎麦の花
エプロンは主婦の仕事着そぞろ寒
虫すだく人見てふ名の無人駅

松岡 萬枝
建部三由紀
西田 真美
小川 雪
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
家高 恭子
富山 玲子
日比生利子

方城句会

池田一步選

山茶花の葉の艶やかに咲きはじめ
孤高なる画人の住居秋時雨
黄落や織部燈籠苔旧りぬ
早寝して目の覚めてより夜の長し
朝霧に車の見へぬ救急車
洞穴や薄日に縋る石路の花
お茶席を染めし一輪花なすび
孫の作にニヤリと笑みを文化の日
天領の地の利のありて下り梁

杉 フジエ
長尾 冴子
藤井耿之介
渡邊 一枝
朝部さよ子
尾崎 和子
木村 誠一
倉石嘉代子
白石 凡子

福智の風

▶ 認知症の家族の現状を伝えたく、インタビューに応じてくれるかたを探し回るも、なかなかOKをもらえない毎日。その背景にある家族の苦悩を垣間見て、余計に正しい理解を訴える必要性を感じました。そんな中で、きれいな事では済まされない介護の話を「地域のために」と語ってくださいましたみなさん。心から感謝しています。(日吉)

▶ 今年も早いもので残すところあと1か月。暑く長い夏から一気に冬に突入したような寒さが押し寄せ、大好きな秋をあまり感じられなかったことをさみしく感じます。今年一年を改めて振り返ると、仕事から、出会いや発見の連続でした。一生の内に会える人や出来事はごくわずか。今後の出会いを楽しみに、来年も励んでいきます。(久原)



1 展示会場で子どもの成長を実感。2 美声を響かせたふれあいコンサート。3 お茶席で憩いの一服。4 重厚な雰囲気漂う謡曲・仕舞の舞台。5 躍動感あふれるリズムダンス。6 盤上で実力者が熱く頭脳戦を展開。7 日舞・民謡では日々磨いた演舞で観客を魅了。8 子どもたちの興味を集めた「ヨーヨー釣り」。9 自慢のノドを披露した歌謡・詩吟の出演者。

Pickup Topics

磨き抜いた技や表現を年に一度の晴れ舞台で披露する町のアーティスト。今年も全5部門のステージで、試行錯誤を重ねた成果を存分に発揮しました。

11月5日から2日間、金田分館と金田体育館で3千367作品が一堂に会した「作品展示」は、創造者の感性が来場者の足を引き止め、感嘆の声と共にそれぞれの世界へと引き込みました。自らの心情や思いを重ねる歌を発表した11月5日の金田分館での「歌謡・詩吟発表会」や、11月5日から2日間と、11月20日に行われた「芸能発表会」は、スポットライトを浴びた出演者が卓越した身のこなしや演奏を披露。演目が終わるたびに観客から鳴りやまない拍手と歓声を受けました。11月13日の「ふれあい



絵画や書、生け花、手芸、そして町を代表する伝統的工芸品の山野焼などがズラリと並んだ展示会場には、2日間で延べ4千人が来場。訪れた人は町のアーティストの作品に、身も心も引き込まれていました。

2011 福智町文化祭

主催／福智町文化連盟

文化の結集 町を彩る



創造者の感性に訴え、その世界へと引き込む多彩な展示、回を重ねるごとに深みを増すステージの数々…。11月5日から3週に渡って開催された文化祭で、アーティストたちが今年も町に彩りを添えた様子をお届けします。

コンサート」のハーモニイは地域交流センターを癒やしの美声で充滿させ、中央公民館で行われた11月20日の「開幕大会」は盤上で静かな熱戦を展開しました。

こうして3週に渡って繰り広げられた福智町文化祭は、芸術の秋と見事に融合。紅葉に染まる町に彩りを添え、来場者の心を大きな感動で包み込みました。



秋 第16回上野焼秋の窯開きの新作と旬の食材を味わう

「上野焼秋の窯開き」が10月21日から3日間にわたって開催されました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合13窯元には秋の新作や掘り出し物を求めて約5千人が来場。隣接するふれあい市ではしし汁や旬の食材が低価格で販売されるなど、陶芸ファンは400年の歴史を誇る上野焼の伝統美を肌で感じながら地元の郷土料理で癒されていました。



↑福岡市内からのツアーや県外からの来場者でにぎわいを見せた上野焼陶芸館。

↓筑波大学付属小青木伸生先生の公開授業では、全国の先生が注目を注ぎました。



全 市場小で基幹学力研究会を実施 全国トップレベルの指導力を研究

児童たちが自発的に勉強を^{たの}しみ、考える芽を育むことをテーマにした「基幹学力研究会」の福岡大会が10月29日に市場小で開かれました。より質の高い授業を目指す全国の先生約300人が集まり、国語と算数に着目した公開授業や教材開発を研究。慣例化した授業を打破し、全国トップレベルの指導力を身につけようと、白熱した討論が繰り広げられました。

自 金田ジュニアクラブ創部35周年記念大会 身の記念大会で白熱の攻防を展開

金田ジュニアクラブの「創部35周年記念大会」が10月29日に行われ、県内外から48チームが集結しました。8月に行われた九州大会で3位に輝き、勢いに乗るジュニアクラブは初戦をコールド勝ちで突破し、その後も順調にコマを進めて決勝進出。惜しくも延長戦でサヨナラ負けをきし、涙をのむ結果となりましたが、最後まで記念大会を盛り上げました。



↑伸びのあるストレートと絶妙なコントロールで初戦を完封に抑えた大島空くん。

↓「米のすくい取り」や「枝豆取り」、「サツマイモ掘り」などが好評で、リピーター続出。



大 コスモスフェスタ2011 人気の収穫体験で笑顔も収穫

10月23日に弁城迫地区で「コスモスフェスタ」が開催されました。地域みなさんが「花いっぱい運動の会」を結成して始まったこのイベントも今回で11回目。年々口コミで評判が広がり、今年も町内外から多くの親子連れなどが参加しました。残念ながら満開には1週間ほど早かったようですが、参加者たちは花の色鮮やかさを間近で観賞し楽しんでいました。

↓上金田郷土芸能保存会による獅子舞の演舞で、稚児の愛らしい姿に元気をもらう参加者（金田会場）。



打 ソバの花フェスタ2011 ちたてのソバの風味に誘われて

農業総合プロジェクト主催の「ソバの花フェスタ」が10月23日に伊方中原周辺で行われました。当日はあいにくの雨に見舞われましたが、福智産のそば粉を使用した限定300食の「手打ちソバ」や「そば饅頭」を求めて、会場は長蛇の列ができるほどの大盛況。ステージでは歌謡ショーやフラメンコが披露され、今年で11回目を迎えるフェスタに花を添えました。



↑本職に引けを取らない手さばぎで打たれたソバは、弾力とのごしが抜群です。

↓九州場所の活躍を願い、貴乃花親方夫婦と弟子に花束とサツマイモをプレゼント。



元 貴乃花親方がひらばる幼稚園を訪問 大横綱が園児に今後の飛躍を誓う

大相撲九州場所で稽古や生活拠点となる宿舎を田川市に構えた貴乃花部屋。11月7日に貴乃花親方夫婦と弟子8人がひらばる幼稚園を訪れました。園児たちからこの日に掘ったばかりのサツマイモや「強いお相撲さんを育ててください」とメッセージ入りの花束を手渡された親方は「みんなの期待に応えられるようにがんばります」と約束し、飛躍を誓っていました。



木村 優愛ちゃん²
H21.12.29 生 (金田 昭和町)



空閑 心奈ちゃん²
H21.12.7 生 (金田 人見)



浦野 大輝くん¹
H22.12.28 生 (金田 宝見)



松尾 昂志くん¹
H22.12.27 生 (伊方 後谷)



藤井 美壮ちゃん¹
H22.12.21 生 (伊方 新門上)



天野 空ちゃん¹
H22.12.1 生 (伊方 湧淵団地)

ふくち玉手箱
Fukutama

みんなでつくる
ごきげんなページ“ふくたま”

HAPPY
BIRTHDAY

12 月生まれ

CMGの香月くんが悲願の3冠達成

→格闘技歴約3年で3つのベルトを奪取しました



CMGキックボクシングジム所属の香月健太くん(方城中2)が10月10日、福岡市で行われた「KING OF STRIKERS (KOS)」の45kg級タイトル戦に出場し、第4代王者に輝きました。4月の日本タイトル戦で初代王者に輝き、7月のKOS40kg級も制覇している香月くん。「将来の夢はプロの格闘家です」という有望株に今後の動向が注目されています。

高齢者大学が児童に昔遊びを手ほどき

→あやとりなどの昔遊びを学ぶ児童



教わった児童は「家でも遊びたい」と顔をほころばせ、受講生はぎこちないながらも夢中で遊ぶ児童たちに、目を細めていました。

福智町高齢者大学の受講生が10月25日に伊方小、11月11日に金田小を訪れ、昔遊びを児童に伝授しました。昔遊びの達人からあやとりやコマなどを

子どもの豊かな心を育む絵本の世界

→食い入るように本を見ていました



口さんの「子どもが興味を示すページは飽きるまで読んでほしい」などの言葉に、保護者はメモをとり、熱心に耳を傾けていました。

子どもの心を豊かに育てることを目的に、直方市立図書館長の野口和夫さんが11月11日に子育て支援センターで絵本の読み聞かせを行いました。野

笑顔募集中!

- お子さんの笑顔をお誕生日の記念に紙面に飾ってみませんか。締切日はお誕生日の前月10日。(土・日・祝日は翌開庁日) 今月は1月に誕生日を迎える満1歳～3歳までのお子さんの写真を募集します。12月12日(月)までに役場窓口で申し込みください。(締切厳守)
- ▶ 役場総務課 広報担当 ☎22-0555



岩下 莉玖くん³
H20.12.16 生 (伊方 東ヶ丘)

動物の鼓動から命の共通点を実感

→聴診器を使いつまぎの鼓動を確認



を思いやる気持ちを学ぶことが目的。参加した4年生21人は動物の生態と正しい接し方を学び、命の尊さを実感したようでした。

田川開業獣医師会と田川保健所主催の「いのちの授業」が10月18日に上野小で行われました。この授業は動物との触れ合いから命の大切さや人

そろいの法被で手製おみこしを披露

→威勢のいい掛け声で練り歩く園児



けて作った手製おみこし担ぎ。「オーラーヤッサー」と威勢のいい掛け声が会場にこだまし、観客から盛大な声援を受けていました。

中央保育所の「秋祭り」が10月22日に方城体育館で行われ、保護者が園児と一緒に秋の夜長を満喫しました。この日のメインは、園児が約3か月か

つながり育んだ弁城小学校開放日

→子どもにも安心価格のPTAバザー



東日本大震災の講話やチャリティーバザーなども実施。今後必要な復興支援について、地域ぐるみで考えた一日となりました。

地域に開かれた学校をめざす弁城小が、10月1日に「学校開放日」として学習参観やステージイベントなどを行いました。校内では、自衛隊員による

第一保育所で心通わせたおもてなし

→同じ時間を過ごして思い出を共有



祖父母71人は、愛らしい孫の姿を見て終始ご満悦。遊戯や会食と一緒に楽しみ、孫との貴重な思い出を胸に刻んでいました。

園での孫の様子を知ってもらおうと「おじいちゃん、おばあちゃんようこそその会」が10月27日に第一保育所で行われました。歌や踊りで出迎えられた

圧倒的な試合展開で優勝をさらう

→今回の回目の優勝となった福智町



の頂上戦でもその流れは衰えず、6対3で見事優勝を遂げました。

田川郡民体育大会の軟式野球大会が10月9日に赤村で開かれました。初戦で優勝候補の川崎町を2対0で破って絶好のスタートを切った福智町は、2

絵本の魅力を伝えた癒しのひととき

→命を救った村人の話津波を音読



いるプロの語り口調に癒され、絵本の奥深さを感じたようでした。

絵本を読む会“ぶらんこ”主催の「第13回絵本のつどい」が、10月16日にコスモス保健センターで行われました。大人を対象に、7冊の絵本や詩の朗読、ピ

百寿の記念で宗さんが健在を示す

→特製ケーキでお祝いされる宗さん

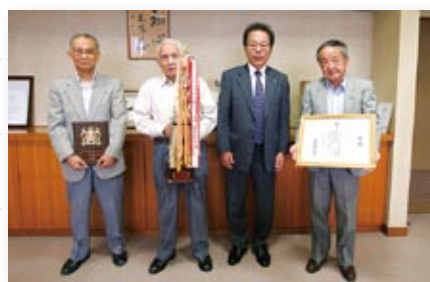


ら花束や特製ケーキで祝福された宗さんは、長寿の秘けつを「何事にも気を腐らせないこと」と上機嫌で話し、健在を示しました。

明治44年10月21日生まれの宗茂さんの100歳を祝う誕生会が入居しているグループホーム徳星園(神崎)で行われました。施設の仲間や職員から

福智町囲碁同好会が盤上で熱戦

→堂々の成績を残して胸を張る会員



飾りました。週4回練習に励むメンバーは「練習の成果が実ってうれしい、今後もさらに優勝を重ねたい」と町長に報告しました。

筑豊5市町の囲碁愛好家が集う「朝日新聞社杯争奪5市町親善囲碁大会」が9月25日に飯塚市で行われ、福智町囲碁同好会12人が団体の部で優勝を



明るい未来へ さらなる飛躍を目指して

5年の節目を記念し、まちづくりの発展を祈念して式典を開催

5th anniversary
Fukuchi town

IKKOさんを観光大使に

平成18年3月6日に、赤池・金田・方城の3町が合併して誕生した福智町。その5周年を記念した式典が11月3日に地域交流センターで開催され、関係者など約300人が新町誕生後を振り返り、町政発展へ



代議士や田川地域の市町村長も駆けつけた受付

の決意を新たにしました。

式典は方城中学校吹奏楽部による息のあった演奏で華々しく開幕。浦田弘二町長が「町民の皆様のおかげで5周年を迎えることができました。今後一層、町の一体感を高めていきたい」と挨拶し、来賓から祝辞が送られました。

観光大使任命式では、福智町出身の美容家IKKOさんが、ガラス製の任命状や上野焼の記念品を受け、自身が思う望郷の念と郷土の魅力をスピーチ。「私らしく好きなものを好きと伝え、その結果が町のためにつながれば素晴らしい」と抱負を語り、会場は将来の町発展に向けた期待感に包まれました。



「ありがとう」など2曲が披露された方城中吹奏楽部によるオープニング。主催者や来賓の挨拶では、さらなる町政発展への願いが述べられました。



観光大使任命式でIKKOさんが「宝づくし」という柄の和装で登場。その後の記者会見で、故郷の魅力と展望に触れ、就任した抱負を語りました。



「町民のこぼ」を発表する沼口富生委員長



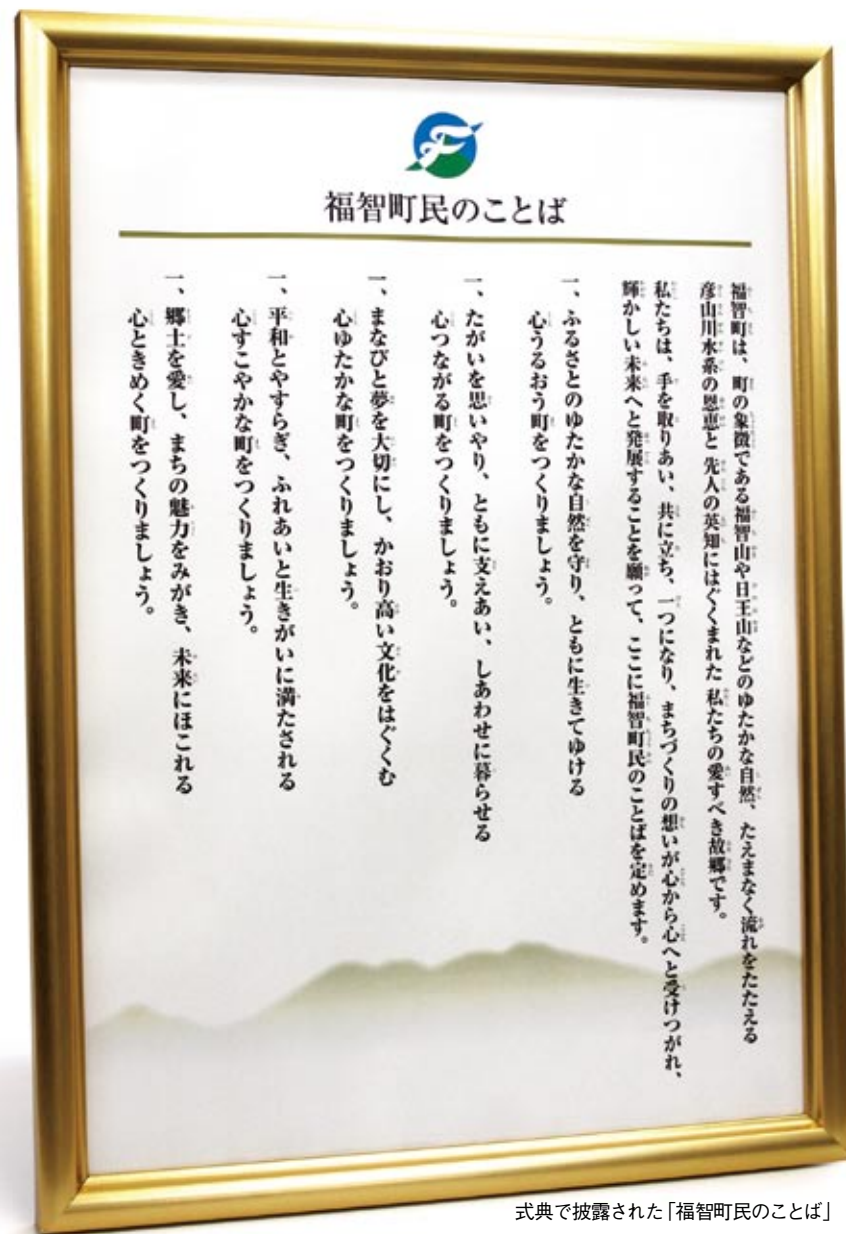
記念講演で地域づくりを語る山崎安則教授

福智町民のこぼ発表

式典では、町民憲章策定委員会が答申した「福智町民のこぼ」が発表され、沼口富生委員長が、前文と5項目からなる本文を披露。「心」をテーマにした内容を会場全体が受け止め、町民の心を一つに、さ

らなるまちづくりの発展へとつなげる思いを共有しました。

最後に、筑紫女学園大学の山崎安則教授が「住民の主体形成と新たなまちづくりへの期待」と題して講演。人と人が支え合う地域づくりの必要性と、求められる地域の将来像に理解を深めました。



式典で披露された「福智町民のこぼ」

福智町民のこぼ

1 前文

福智町は、町の象徴である福智山や日王山などのゆたかな自然、たえまなく流れをたたえる彦山川水系の恩恵と先人の英知にはぐくまれた私たちの愛すべき故郷です。私たちは、手を取りあい、共に立ち、一つになり、まちづくりの想いが心から心へと受けつがれ、輝かしい未来へと発展することを願って、ここに福智町民のこぼを定めます。

【解説】前段は、豊かな自然や文化への畏敬、先人からの恩恵や今日に至る命の営みに対する感謝の念と愛郷心を明記したものです。後段の「手を取りあい、共に立ち、一つになり」の部分は、新町発足後の一体感の醸成を目指したもので、次の「まちづくりの想いが心から心へと受け継がれ」の部分は、本文が「心」をテーマに構成されていることに関連しています。まとはめ、この福智町民のこぼが、今このまちに住む人たちだけのものではなく、将来や未来に向けた誇りあるものであることを実感しつつ、これからのまちづくりの姿勢を声高らかに宣言することばであることを伝えています。

2 本文

一、ふるさとのゆたかな自然を守り、ともに生きてゆける 心うるおう町をつくりましょう。

【解説】この文は「自然」「環境」の分野に関係した項目です。本町の特性である豊かな自然を大切に、恵まれた環境を守り育てるだけでなく、自然を活かし、人が生かされ、いど湯の癒しやうるおいを感じられる町づくりの方向性を表しています。

一、たがいを思いやり、ともに支えあい、しあわせに暮らせる 心つながる町をつくりましょう。

【解説】この文は「人権」「共助」「協働」の分野に関係した項目です。地域のつながりや人間関係が薄れていく社会の中、常に互いの人権を尊重する視点を持ち、共に支え、支えられる相互扶助の関係を再構築し、だれもが幸せに暮らすことができ、心と心が通じ合うまちづくりを目指していくことを表しています。

一、まなびと夢を大切に、かおり高い文化をはぐくむ 心ゆたかな町をつくりましょう。

【解説】この文は「教育」「教養」「歴史」「文化」「伝統」の分野に関係した項目です。子どもたちの学びを伸ばし、より大きな夢を抱くことへの願いと、大人が将来にわたって夢を持ち続けられる町の姿を示し、町の歴史や伝統をふまえた文化をさらに高めていくことを表しています。

一、平和とやすらぎ、ふれあいと生きがいに満たされる 心すこやかな町をつくりましょう。

【解説】この文は「平和」「安全」「秩序」「福祉」「健康」の分野に関係した項目です。平和や安全、安心や秩序があってこそ得られる「やすらぎ」。また、ふれあいの場がすぐそばにあり、健康が維持され、福祉環境が満たされてこそ見出せる「生きがい」。すこやかな心が、明るい家庭や地域づくりにつながっていくことを表しています。

一、郷土を愛し、まちの魅力のみがき、未来にほこれる 心ときめく町をつくりましょう。

【解説】この文は「活力」「産業」「観光」「風土」「愛郷」「展望」などの分野に関係した項目です。まちづくりの基盤となる郷土愛の醸成と、その愛郷心が活力となって町の魅力を磨いていく活性化、将来を担う人材育成を通して、未来に向けた誇りある郷土づくりを目指すことを表わしています。人と町とが秘めた無限の可能性とその開花を示しつつ、この福智町民のこぼ全体の結びとして位置付けています。

わがふるはあ〜ん

美のカリスマ 福智町
IKKO トークショー

観光大使 IKKOさん

ステージで故郷に愛とエール贈る

11月3日に福智町観光大使に就任したIKKOさんが同
 対策研修センターでトークショーを開催。方城和太鼓
 クラブと共演し、7曲を披露しました。「三つの町が一つ
 になって、いま福智町に一番大切なことは絆で結ばれる
 こと」「ヤマの時代の人達のように一所懸命の気持ちで
 前に進んで」と、愛を込めたエールを会場に贈りました。

和装・洋装と華やかな衣装で登場したIKKOさん。
 歌とトーク、Q&Aや握手で客席との距離がさらに
 近づき、会場総立ちで心をつなぐ声に合わせました。
 なお、今回の収益金は、町のために役立てられます。

町長日誌

▼先月3日に「福智町合
 併5周年記念式典」を
 開催したのは、まだ記
 憶に新しいことと思う。

それは、5年余の歩みを確認すると同時に、ふるさと福智町の明るい明日に向け、気持ちを重ね合わせるきっかけになればとの願いを込めた取り組みでもあった▼式典の中で、合併以降懸案となっていた「福智町民のこころ」を制定したことの報告と、IKKOさんに観光大使就任のお願いをするセレモニーを行った。前文と5つの項目からなる「福智町民のこころ」は、今後のまちづくりの指標として、その実現を目指すいわば町是となるものだ。本町の輝かしい未来を創造するために、町民のみなさんお一人ひとりの日常生活における指針にしたいだきたいと思っている▼また、福智町発展のカギを握る施策である「観光のまちづくり」を、円滑にそして早期に達成できるように、IKKOさんには是非力を貸していただきたい——そんな祈りにも似た切実な思いから、今回の観光大使任命の運びとなった。これまで、東京で町特産品の販売会を実施したり、福岡市・北九州市を対象にバスツアーの誘致を行うなど、町のPRに努めてきたが、波及効果と言える程の成果をあげるには至っていない。こうした現状を好転させるためにも、抜群の知名度を持つIKKOさんの力をお借りしたいと思う▼望郷の念にかられることが多くなったと述べられた大使就任のあいさつが、今でも忘れられない。

浦田 弘二